

## World Cup2012 予選大会審査規約

## 【審査基準】

審判員および審議員は同等の権限を持って競技の審査に当たるが、競技に関する最終決定はすべて審判長の裁決による。

大会は下図の構成によって進行される。

## [女子] ■試合の進行【組手と勝敗】

## 本戦

## ● 2分間

- 組手の勝者は、一本勝ち・判定勝ち、相手の失格・棄権による勝ちにより決定される。



## 延長戦

## ● 2分間

- 本戦で勝敗が決まらなければ延長戦を行う。



## 体重判定

- 軽量級 3 kg 以上・重量級 5 kg 以上差があった場合は、軽い方を勝者とする。
- 既定の体重差が無い場合は最終延長戦を行う。



## 最終延長戦

## ● 1分間

- 最終延長戦の判定はマストシステムで行う。

## [男子] ■試合の進行【組手と勝敗】

## 本戦

## ● 2分間

- 組手の勝者は、一本勝ち・判定勝ち、相手の失格・棄権による勝ちにより決定される。



## 延長戦

## ● 2分間

- 本戦で勝敗が決まらなければ延長戦を行う。



## 再延長戦

## ● 2分間

- 延長戦で勝敗が決まらなければ再延長戦を行う。



## 体重判定

- 軽量級 3 kg 以上・中量級 5 kg 以上重量級 10kg 以上差があった場合は、少しでも軽い方を勝者とする。
- 既定の体重差が無い場合は最終延長戦を行う。



## 最終延長戦

## ● 2分間

- 最終延長戦の判定はマストシステムで行う。

## 【一本勝ち】

- ①反則箇所を除いて、突き、蹴りをきめ相手選手を5秒以上ダウンさせるか、戦意を喪失させたとき。

## 【技有り】

- ①反則箇所を除いて、的確に技を決め、相手選手が一時的にダウンし5秒以内に立ち上がったとき。
- ②相手選手が倒れないまでも、有効な攻撃でバランスを崩したり戦意を喪失したとき。
- ③技有りは2本で一本勝ちとする。

## 【判定と延長戦】

- ①試合時間内に一本勝ちで勝敗が決まらない場合は、判定で決定する。
- ②判定は主審1名、副審4名のうち3名以上の判断で決定するが、それ以外の場合は引き分けとし延長戦を行う。
- ③体重判定について

【男子】 軽量級 3 kg 以上・中量級 5 kg 以上・重量級 10 kg 以上差があった場合は、少しでも軽い方を勝者とする。

【女子】 軽量級 3 kg 以上・重量級 5 kg 以上差があった場合は、少しでも軽い方を勝者とする。

- ④最終延長戦はマストシステムで勝敗を決する。

## 【反則】

- ①手、肘による顔面および首への攻撃。
- ②金的蹴り、頭突き、倒れた相手への攻撃。
- ③道衣や手足の掴み、掌底押し、首から上の手掛け。
- ④相手の背後からの攻撃。
- ⑤故意に転倒し相手に攻撃させない場合。
- ⑥場外に出た場合。
- ⑦以上のほか主審が反則とみなした場合。
- ⑧反則は悪質なものを失格または減点とし、それ以外は注意が与えられる。
- ⑨故意でなくても反則によるダメージが大きいと判断される場合は、即時減点または失格となる。
- ⑩注意2回で減点1、減点2で失格となる。

## 【失格】

- ①減点が2になった場合。
- ②係員、審判員の指示に従わない場合。
- ③規定体重を少しでも超えた場合。
- ④粗暴な振る舞い、悪質な試合態度、悪質な反則等主審と副審が協議のうえ失格と判断した場合。

## 【その他】

- ①試合中不適切と判断される応援があった場合、主審と審判長が協議の上処分を決定する。
- ②試合結果について、選手とその関係者は審判員や主催者に対して一切の異議を申し立てできない。
- ③この大会規約に無い事態が発生した場合は審判長が最終決定する。尚、その効力は絶対である。